

令和8年度
公益財団法人 永井科学技術財団 助成事業

前 期 募 集 要 項

募集期間；令和8年4月1日～5月10日

【永井科学技術財団 助成金】

- ・ 国際交流
- ・ 大学院生海外研修
- ・ 大学院生国際会議発表支援
- ・ 大学院生論文投稿支援
- ・ 科学技術育成教育
- ・ 企業化支援
- ・ モノづくり実践支援

1. 助成事業の目的

本財団は、素形材分野およびその関連分野、さらにそれらを他産業へ応用する科学技術（以下「当該科学技術」という）に関する学術研究や技術開発、国際交流、講演会・発表会・展示会などへの助成を行います。また、科学技術全般の育成教育にも助成を行うことで、学術と科学技術の発展を促し、社会経済の向上に寄与することを目的としています。

※「素形材」とは、金属やプラスチックなどの素材に熱や力を加えて成形した部品・部材のことです。主な加工法には、鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金などがあります。

2. 助成事業の内容

本財団は、愛知県内の学校、研究機関、中小企業等に所属する研究者・技術者、また研究や教育活動を支援する団体を対象として、以下の助成事業を実施します。

- (1) 当該科学技術に関する学術研究、技術開発および国際交流への助成
- (2) 当該科学技術に関する講演会、発表会、展示会等への助成
- (3) 科学技術全般に関わる育成教育への助成
- (4) 上記のほか、本財団の目的達成に必要な助成事業

3. 募集分野

本募集では、素形材分野における革新的な研究テーマを広く求めています。基礎研究から応用研究まで、幅広いアプローチを歓迎します。対象となる主な分野は以下のとおりです。

(1) 素材の創製に関する研究

金属、有機材料、無機材料、複合材料など、多様な素材における新規構造・特性の創出を目的とした研究。

(2) 素材の成形および加工プロセスに関する研究

鋳造、鍛造、プレス、粉末冶金、3D造形など、成形・加工プロセスの高度化や新手法の開発に関する研究。

(3) 素材・成形品・加工品の機能化に関する研究

改質、表面処理、接合、造粒、微粒化など、製品性能や特性を向上させるための機能付与技術に関する研究。

(4) 素形材と他分野技術の融合による研究

エネルギー、環境、AI、ロボット、電池関連など、他領域の技術と組み合わせることで新たな価値創出を目指す研究。



4. 募集内容

(1) 国際交流助成金 【応募資格：40歳以下】

本助成は、素形材に関わる研究活動や学会等での研究発表を目的として海外へ渡航する若手研究者を対象に、渡航に要する費用を助成します。対象となる渡航期間は、2026年4月以降に実施される、概ね1週間程度の渡航です。

(2) 大学院生海外研修助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

本助成は、素形材分野の研究に従事する大学院生を対象とし、海外機関における研究活動・研修を推進することを目的として、渡航に要する費用を支援するものです。助成対象となる渡航は、2026年4月以降に実施される1か月以上の海外滞在を伴う研修とします。

(3) 大学院生国際会議発表支援助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

本助成は、素形材に関連する研究成果を国際会議において発表する大学院生を対象に行うものです。国際会議への参加旅費、参加登録費、ならびに発表資料作成に要する経費を支援します。助成対象となる国際会議は、2026年4月以降に開催されるものとします。また、実際に国際会議が開催される国・地域へ渡航し、現地で発表を行うことを応募の条件とします。

なお、発表の際には、「公益財団法人永井科学技術財団(The NAGAI Foundation for Science & Technology)の助成による」旨を明記してください。

(4) 大学院生論文投稿支援助成金 【応募資格：大学院生（前期・後期課程）】

本助成は、大学院生による素形材分野の研究成果を対象に、学術誌・学会誌等への論文投稿を支援します。支援対象費用は、論文の投稿料および作成に要する経費とします。本助成の対象となる論文は、2026年4月以降に受理または採択されたものに限り、ます。

なお、この助成を受けて投稿する論文には、以下の謝辞を明記してください。

「公益財団法人永井科学技術財団(The NAGAI Foundation for Science & Technology)の助成による」

(5) 科学技術育成教育助成金

次世代を担う青少年（小中高生および学生）ならびに一般の方を対象として、科学技術に関する教育活動およびダイバーシティ推進活動等を実施する愛知県内の団体に対し、助成を行います。

(6) 企業化支援助成金

本事業は、素形材分野に挑戦する若手スタートアップの事業展開を支援することを目的とし、県内で当該分野の育成・支援に取り組む団体に対して助成を行います。

(7) モノづくり実践支援助成金

学校等における製作課題（機械、電気電子、材料、デザイン等）や、素形材に関わるモノづくり活動（授業、部活動、サークル活動など）に対し、製作費を助成します。

助成対象は、2026年4月から2027年3月の期間に実施される企画で、愛知県内の学校（大学、高等専門学校、高等学校など）および校内サークル等の団体・グループとします。

5. 助成規模

令和8年度（2026年度）助成総額 4,000万円

6. 応募資格

- (1) 本事業の対象は、愛知県内の学校、企業、各種団体等に所属する個人またはグループとします。
- (2) 大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金は、愛知県内の大学に所属する大学院生（前期課程・後期課程）を対象とします。
- (3) 各所属機関の推薦を得てください。
- (4) 年齢制限の有無および条件は、「4. 募集内容」にてご確認いただけます。
- (5) その他の注意事項
 - ① 過去に財団賞（学術賞・技術賞・奨励賞）を受賞された方は、応募いただけません。
 - ② 下記の助成を受けてから3年以内の方は応募できません（4年目から応募可能）。
 - ・当財団の奨励金
 - ・国際交流、大学院生海外研修、大学院生国際会議発表支援、大学院生論文投稿支援の各助成金
 - ③ 大学院生を対象とする助成金については、以下の方は応募できません。
 - ・企業からの派遣学生
 - ・海外からの国費留学生
 - ④ 同一専攻・研究室からの複数の応募は、できる限りご遠慮ください。

7. 応募手続

- (1) 応募期間 令和8年4月1日～5月10日 ※5月10日必着
- (2) 応募方法 所定の申請様式に必要事項を記入し、郵送またはE-mailにて当財団事務局宛にお送りください。（E-mailの場合はPDFファイル）
※ 申請書（Word）は当財団ホームページからダウンロードできます。
<https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>

注意事項 申請書類に申請者及び推薦者の押印が必要です。

- (3) 申請書類及び添付資料
 - ① 国際交流助成金
 - ・様式【3】
 - ・国際交流の内容が理解できる資料
 - ② 大学院生海外研修助成金
 - ・様式【4】
 - ・海外研修の内容が理解できる資料
 - ③ 大学院生国際会議発表支援助成金
 - ・様式【5】
 - ・国際会議への参加、発表内容が理解できる資料
 - ④ 大学院生論文投稿支援助成金
 - ・様式【6】
 - ・投稿誌と論文の内容が理解できる資料

- ⑤ 科学技術育成教育助成金
 - ・様式【7】
 - ・育成教育事業の内容が理解できる資料
- ⑥ 企業化支援助成金
 - ・様式【8】
 - ・支援事業の内容が理解できる資料
- ⑦ モノづくり実践支援助成金
 - ・様式【9】
 - ・製作目的と実施計画が理解できる資料

8. 審査及び決定

学識経験者から成る当財団の選考委員会により申請書類を審査し、理事会にて決定します。

9. 採否通知と公表及び実施報告書の提出

- (1) 採否は当財団理事長より申請者に通知します。(2026年6月下旬予定)
- (2) 採択テーマについては新聞等への発表、当財団ホームページへの掲載、新東工業株式会社が発行する「新東技報」等で氏名、所属、受賞内容を公開します。
- (3) 採択者は申請事業を実施後、1ヶ月以内に実施報告書(指定書式)を提出してください。

10. 申請書類の提出先、連絡先

[事務局]

〒450-6424 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
大名古屋ビルヂング24階 新東工業株式会社内
公益財団法人 永井科学技術財団 事務局 石黒裕之
電話 (052)582-9211 FAX (052)586-2279
E-mail nagaizaidan@sinto.co.jp
URL <https://www.sinto.co.jp/nagaizaidan/>